

千葉大学文学部 教育課程編成・実施の方針

「自由・自立の精神」を堅持するために

- 学生が自主的に自己の学修目標を設定し、向上心と向学心を持ってその達成に取り組む学修態度、またそれを支える学修技法を涵養する教育課程を編成し、提供する。
- 教育課程全般を通して、自己の良心と社会の規範を尊重し、高い倫理性をもって自立的に行動する姿勢を涵養する。

「地球規模的な視点からの社会とのかかわりあい」を持つために

- 地球規模的な視点から人文科学の専門諸領域の社会的、文化的、歴史的位置づけを理解するための幅広い視野と、批判的精神を育成する学修機会を提供する。
- 教育課程全般を通して、多様な留学の機会を提供し、自己の専門的能力を地球社会と地域社会の持続的な発展のために役立てようとする姿勢を備えた人材の育成に取り組む。
- 学内外で継続的な学修を促進するために、情報通信技術を活用した学修基盤を提供する。

「普遍的な教養」を涵養するために

- 多様な文化・価値観を深く理解し、文理横断的・異分野融合的な知を備え、社会や人類が直面する地球規模の課題に取り組むために、普遍教育科目を体系的な教育課程の中に位置づけ、提供する。
- 普遍教育と専門教育をつなぐ横断的な学修機会を提供し、全学的な副専攻を充実させる。

「専門的な知識・技術・技能」を修得するために

- 人文科学の専門領域に関する知識を幅広く、かつ段階的・体系的に習得できる教育課程を提供する。
- 人文科学の専門知識を活用し、主体的・批判的な姿勢で実証的・論理的な思考を実践するための訓練の場として演習・実習科目を提供する。
- 広く社会に貢献するとともに、知識集約型社会を牽引するイノベーション創出のための学修環境づくりを進める。

「高い問題解決能力」を育成するために

- 語学教育においては、発信型のコミュニケーションを学修する機会を、普遍教育科目を含めた体系的な教育課程の中に提供する。
- 情報通信技術の活用も含め、必要な情報やデータを適切に収集・分析・活用する方法を修得し、情報を適切に発信することのできる学修の機会を提供する。
- 社会の要請を踏まえて問題を主体的・能動的に解決する態度と技能を修得する専門教育科目を提供する。

「学修成果の厳格な評価」のために

- 学修成果については、事前にシラバス等で提示する各授業目標への到達度によって、厳格かつ公正な評価を行う。また、成績評価を透明かつ公平に行うため、GPA 制度を利用するとともに、事前・事後学修の明示や履修登録単位数の上限設定等により、単位の実質化をはかる。
- 講義科目では、試験、レポート、リアクションペーパー等でその達成度を評価する。
- 実験・実習・演習科目では、試験、レポート、口頭発表等でその達成度を評価する。